

# 2024年6月14日 第3473回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> \*NPO法人神奈川フードバンク・プラス

理事 豊島 佳代子 様

\*特定営利活動法人こどもの夢サポートセンター

理事長 鈴木 明 様

理事 荻野 量一 様

\*横須賀ジュニアビレッジ 代表者 池井 将 様

\*株タウンニュース社 横須賀支社 支社長 安池 裕之 様

<会長報告> \*2025年夏出発 青少年交換留学生募集の件について

・クラブまたはガバナー事務所のメ切 10月18日(金)必着

・地区委員会への提出メ切 10月23日(水)必着

・選考試験日/会場 【1日目】筆記試験 11月 9日(土)12:30~

於：第一相澤ビル

【2日目】面接試験等 11月10日(日) 9:00~

於：第一相澤ビル

・上記説明会 8月3日(土)15:00~17:00 要予約

場所：第一相澤ビル6F「会議室」

\*ポリオ根絶募金活動 地区ローターアクト委員会ご案内について

6月22日(土) 9:30集合 13:00集合

集合場所：藤沢駅北口サンパール広場

<新会員入会式> \*三井 英夫 会員

<幹事報告> \*週報・・横須賀西RCから受領

<出席報告> \*出席委員会 小平会員から6月14日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
117名	102名	66名(4名)	36名	4名	72.12%

メイクアップ：岡田(英)、北村 両会員 地区委員会出席

植田、八木 両会員 ピンクリボンよこすかチャリティー講演会出席

<ニコニコ報告>

・石田、加藤(健)、権田、前川、鈴木(豊)、前田、Robinson、齋藤(眞)、小林(健)、高橋 各会員  
奉仕の基金を受けられた各団体のみなさま、ようこそ横須賀ロータリークラブへいらっしゃいました。例会をお楽しみください。

・小澤、柴田 両会員 誕生月祝いとして

・小澤、柴田、渡邊、岡田(健)、永井 各会員 入会月祝いとして

・三 役 三井英夫会員、ようこそ横須賀RCへ。一緒にロータリーライフを楽しみましょう。

・比護、渡邊、椿、岡田(健)、永井、杉浦、梶木、福西、八巻、鈴木(健)、  
前川、澤田、上林、柴田、松岡、齋藤(眞)、小沢、徳永、小山(健) 各会員

三井英夫会員、横須賀ロータリークラブへの入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

・三井 会員 今日から入会する三井です。よろしくお願いたします。

・三 役 活動報告よろしくお願致します。

・兼城、大野(健)、山下、小林(-)、児玉、竹株、福西、杉浦、長島、  
梁井、江口、佐久間、小平、小澤、松本(健)、南、長尾、谷、徳永、

新倉 健、鈴木 健、瀬戸、前田、松岡、齋藤 眞、田中、萩原 各会員

奉仕の基金プロジェクト委員会 加藤淳委員長、ピンクリボン運動特別委員会 椿委員長、今年度の活動報告楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

- ・野坂 会員 遅刻してすみません。
- ・大石 会員 無銭飲食してすみませんでした。
- ・小山 健 会員 写真をいただいて。

## <卓 話> 「奉仕基金プロジェクト3団体 発表」

### ◇NPO法人神奈川フードバンク・プラス

理事 豊島 佳代子 様

NPO法人神奈川フードバンク・プラス理事の豊島と申します。事業概要は「ひとり親家庭と無料学習塾への食支援の取り組み」です。助成金の活用内容は、月1回のひとり親家庭への食支援と週1回の無料学習塾を受講する子どもたちへの授業終了後のパンや飲み物の支援で、この事業の拡大に活用させていただきました。

2023(令和5)年度の活動報告をさせていただきます。入荷量は39,296kgと前年比4,200kg増となり、飲食品を提供してくださった主な先は、コストコ、コカ・コーラ、フードバンクかながわ、子ども家庭庁、味の素、CGCジャパン、報徳食品支援センター、オイシックス、ビーバーリンク、そのほか個人の方42先です。配布量は、37,810kgと前年比4,995kg増となりました。配布先は、団体では31団体、420世帯に16,000kgを、個人では公営住宅4か所に7,000kg、その他個人や電話対応の100世帯以上に14,000kgを配布することができました。

続いて、奉仕の基金の会計報告をさせていただきます。収入として10万円の助成金をいただきました。支出ですが、ガソリン代として61,713円、ビニール袋や事務用品などの消耗品費で38,933円、食品着払い送料として16,500円の合計117,146円となり、不足分の17,146円は法人会計から補填しました。

「中学3年生対象の無料学習塾への食料提供」を実施してきましたが、2団体24名の生徒の高校受験結果は、全員が希望した公立高校に合格できました。また、ひとり親家庭への食料支援については、物価上昇の中、生活苦のために毎月食料支援依頼が増えてきています。今後も十分な対応を行ってまいります。

今回、多分な助成金をいただきましたことで、活動も前進できました。お礼申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

### ◇特定非営利活動法人こどもの夢サポートセンター

理事長 鈴木 明 様  
理事 萩野 量 一 様

特定非営利活動法人こどもの夢サポートセンター理事長の鈴木です。事業概要は、「農業を主軸とした地域社会貢献事業の取り組み」です。2023(令和5)年度からの新規事業として、地域社会貢献を目的に農業を基軸にした取り組みを進めています。横須賀長井地区で農家の指導を受け、400坪ほどの農地を借りて三浦大根、キャベツなどの三浦半島野菜を栽培してきました。収穫した野菜は、市民に安価で提供し大変喜ばれました。介護施設、困窮世帯等には無償で提供しました。

また、小学校の体験学習でキャベツの植え付けを行い、収穫時には児童に新鮮な野菜をプレゼントしました。

こうした取り組みを一層押し進め、今後さらに多くの市民に貢献できることを目指しています。活動の時期は2023(令和5)年10月1日～2024(令和6)年以降です。

助成金は、農具の購入に活用させていただきました。耕運機1台と刈払機1台を購入することができました。今までは、農地をスコップや鍬で何時間もかけて耕し野菜作りをしてきました。そこには市内の引きこもり経験者も参加していますが、体力もなく非常に苦勞して活動していました。また、女性の参加者も少なかったのですが、耕運機を利用すると畑が短時間で耕され、野菜作りの「大変さ」は「楽しさ」に変わったようです。農作業は引きこもりの方々にとっては多くのメリットがあります。何よりもすがすがしい景色とお

いい空気、太陽の下での作業で心が癒やされ、生活習慣の改善や体力作りとともに適度な社会性の獲得など社会への一步を踏み出すきっかけになっています。

助成金で農具を購入できたことでは大きく2つの成果がありました。1つ目は、耕運機、刈払機が購入できたことで農作業が格段に進み、今までの耕作や草刈りの手作業が少なくなり、その分野菜作りが丁寧にできるようになりました。また、今後農地を拡大して市民に一層の貢献ができる土台ができました。2つ目は、体力のない方の重労働が減って野菜作りの楽しさを味わえる環境ができました。

体験者から「毎週長井に来ることが楽しみです。はじめは少し作業をすると休憩していましたが、今は1時間くらい続けられるようになりました。汗をかいたときの水が何とも言えないくらいおいしいです」「野菜の収穫はうれしいです。野菜をいただいて家に持ってくると家族がとても喜びます。今まで家族とあまり話ができなかったのですが、野菜が仲立ちをしてくれています」「友達も、話す人もいなかったのですが、体験を通して話が少しずつできるようになりました」「耕運機がっこいい。もう少ししたら自分もやってみたいです」の声が寄せられています。

会計報告をさせていただきます。助成金として20万円をいただきました。支出は206,800円で、内容は井関農機製の小型耕運機と丸山製作所製のエンジン刈払機の購入です。助成金を超過した分は当方で支出しました。

以上です。ありがとうございました。

## ◇横須賀ジュニアビレッジ

代表 池 井 将 様

横須賀ジュニアビレッジ代表の池井と申します。事業名は、「小中学生が地域活性化を目的にした『食×農ビジネス』に挑戦！子どもたちの力で横須賀の農業を観光資源へ」です。

実施内容は、横須賀市の西部では地域活性のひとつの手段として「カラフル野菜」が栽培されているので、この地域の魅力を多くの方々を知っていただき、さらに横須賀の観光活性にもつなげていく事を目標とした活動に取り組みました。

地元農家「鈴也ファーム」さんの畑をお借りし、紫にんじんの栽培を行い、ドレッシングの製造元である「エスエスケイフーズ」さんにご協力をいただいて「紫にんじんドレッシング」の開発を行いました。

デザイナーさんにご協力いただいて、ドレッシングのラベルデザインを行い、子どもたちが自らSNSでの情報発信や商品のチラシ作りや名刺作りなどを行いました。

ソレイユの丘（日比谷花壇）、カミツレ研究所、株式会社シテコベと共同して、地中海沿岸原産のキク科の一年草で、ヨーロッパでは昔から民間薬として使われてきたハーブのひとつであるジャーマン・カモミールの栽培にも取り組みました。2024（令和6）年度の活動では「カモミール石鹸」の開発、商品化も行う予定です。

「紫にんじんドレッシング」と、その他の地域のジュニアビレッジで開発した商品の販売会を実施しました。ソレイユの丘、無印良品コースカベイサイド横須賀店、スズキヤ横須賀店、いちごよすかポートマーケット、NTT横須賀研究開発センター、衣笠商店街、横須賀カレーフェスティバル、観音崎フェスタや地元のスーパー、商店などで「紫にんじんドレッシング」を販売していただきました。

次に、会計報告をさせていただきます。助成金の10万円は全額「紫にんじん」の種の購入費として使用させていただきました。助成金を活用させていただいたことにより、例年以上の本数の「紫にんじんドレッシング」を製造することができました。販路の拡大につながり、子どもたちも街で自分たちが作った商品を見かけることが多くなり、社会とのつながりや自己肯定感を感じられていたように見えました。実際に子どもたちの「横須賀ジュニアビレッジ」の活動の継続率が向上しました。例年は次年度の活動への継続率は半分以下でしたが、今回は、2023（令和5）年度の活動に参加した部員の8割以上が、継続して2024（令和6）年度の活動に参加しています。

また、ロータリークラブからの助成を受けたことで、子どもたちにとってもロータリークラブが身近になり、社会からの支えを実感できたのではないかと思います。全国の各地域に拠点がある「ジュニアビレッジ」では、小中学生が農業を通じて、地域の抱える問題解決に取り組むビジネスにチャレンジしています。私たちコーチやインターン生は、子どもたちの活動をサポートし、「子どもの未来」と「地域の未来」をともに育むことができるような活動を目指しています。

ジュニアビレッジの活動は、地域の皆さんに支えていただきながら継続することができています。農家の皆さん、商品の製造に携わってくださる皆さん、子どもたちが作った商品を応援購入してくださる皆さん、そして、活動資金を提供してくださるリーフサポーターとしての地域団体・企業の皆さんです。活動を後押ししてくださる地域の皆さんのおかげで、子どもたちは代え難い経験を積んでいくことができ、さらなる成長につながります。

このたびは子どもたちの活動に際し、過分なるご芳志を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。先ほども申し上げましたが、助成金はドレッシングの原材料となる紫にんじんの栽培資金として活用させていただきました。より多くのドレッシングの製造、販売へとつながり、子どもたちの活動意欲をより向上させる事ができました。今後とも一層のご厚情を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### <藤村会長からの総評>

本来であれば「奉仕基金プロジェクト委員会」のカウンセラーである小佐野会員が総評するのですが、どうしてもご都合が悪いということで、私からお話しさせていただきたいと思います。

報告をされた3つの団体は、いずれも貧困や障がいがあるなど、社会的弱者の方に対する支援をなさっていて、そういう方々との地域の中での共生を育んでいらっしゃるという大変素晴らしい活動だと思います。我々ロータリークラブにとっても、他の支援団体と協業するという事は、地域の課題やニーズを知り、知見を深めることができる素晴らしい機会につながると思います。

本日は貴重なお話を伺うことができ、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げたいと思います。

簡単ですが、最後に3団体の今後のご活躍とますますのご発展をお祈りして、私からの総評とさせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。



### ◇「ピンクリボンよこすかチャリティー講演会 報告」      ピンクリボン運動特別委員会 椿和香委員長

5月26日の日曜日、「ヨコスカ・ベイサイド・ポケット」で開催いたしました「ピンクリボンよこすかチャリティー講演会」のご報告をさせていただきます。

このイベントは、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝え、乳がん検診の受診率向上を目的に開催しています。

チケット販売総数は363枚と完売し、大勢の皆様にご来館いただきました。当初クラブから50万円の補助金をいただく予定でしたが、チケットが完売したことにより、補助金は248,130円に抑えられました。

検診も定員の48名の方々が受診してくださいました。

講演会は、主催者挨拶・寄付金贈呈・来賓ご挨拶に続き、ピンクリボンかながわ代表で湘南記念病院乳がんセンター長の土井卓子(どい・たかこ)先生の「あなたとあなたの大切な人を乳がんでなくさないために」と題した講演が行われ、次いで、乳がん予防医学推進協会職員の方からマンモグラフィー圧迫の必要性の説

明があり、土井先生、歌手でピンクリボンかながわアドバイザーの麻倉未稀さん、乳がん経験者で歌手・ライバーのLiLuさん、乳がん起業家の藤井ともみさんによる「がんを乗り越えて今！」と題する座談会が行われました。

座談会には、急遽、当クラブ会員で「大滝町乳腺消化器クリニック」の前田院長も参加され、来場者参加型のクイズ形式で行われました。ご来場者の皆様から、「とても分かりやすかった」「検診を受けなければと思った」とのお声をいただきました。

座談会後には、視聴率20%台を記録した有名な学園ドラマ「スクール☆ウオーズ」の主題歌『ヒーロー HOLDING OUT FOR A HERO』を乳がん経験者でもある麻倉未稀さんが歌ってくださいました。今年は2曲も披露してくださり、スクール☆ウオーズ世代としては、とても感動いたしました。さすがにプロの歌声でした。

休憩をはさんで行われた三浦学苑高等学校吹奏楽部による演奏は圧巻で、皆様涙するくらい感動されておりました。

植田会員の協力で、岩崎学園さんにもサコッシュの手作り体験コーナーを準備していただき、大盛況でした。参加されたお子様のお母様からお礼の言葉もいただきました。

今回の講演会では、小学生から高校生、その保護者など幅広い方々に聴いていただけたことで、多くの方に検診の大切さが伝わったと思い、ロータリークラブの活動が理解いただけたと自負しておりますが、今後も啓発活動を継続していきたいと思っております。

今回の開催にあたり、チケット販売から当日のお手伝いまで、長期間ご協力・お手伝いくださいました当クラブ会員をはじめ、全ての皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

#### <藤村 会長>

ピンクリボンチャリティー講演会は、今回で2年目になります。昨年は100万円以上をかけたプロジェクトでした。今年は30万円足らずの金額でしたが、決して見劣りしない立派なプロジェクトになったと思います。

椿委員長をはじめ委員会の皆さん大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 石田 裕樹・大石 朗